

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

特別会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	介護予防普及啓発事業（本庁）			事業番号	011-060
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①自立支援・介護予防・健康増進の推進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率		
		寄与するKPI	有	現状値	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)
		有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8	
		有	取組	地域包括ケアシステムの推進			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3(2021)～5(2023)年度）			
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	介護保険法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁・各区			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	65歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない方	対象数	単位	
			約173,000	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態になることを予防する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>保健センターまたは地域会館において、高齢者等に対し介護予防にかかる知識の普及啓発や介護予防プログラムの提供を行う。事業内容は以下のとおり。</p> <p>①げんきあつぷ教室：老人福祉センターや地域会館等で運動指導士による運動機能向上のプログラムを実施。</p> <p>②低栄養改善：管理栄養士等による低栄養予防のための講座を実施。</p> <p>③口腔機能の向上：歯科衛生士や言語聴覚士等による口腔機能向上のための講座を実施。</p> <p>④複合型介護予防教室：認知症を予防するための取組を中心に、運動機能向上、低栄養改善、口腔機能向上のプログラムを実施。</p> <p>⑤介護予防健康教育：保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による介護予防や健康づくり全般に関する講座を実施。</p> <p>⑥パソコン・スマホでフレイル予防教室：自宅で参加できるオンラインの体操教室を実施。</p> <p>⑦いい歯自慢コンテスト：80歳以上で自分の歯を20本以上持つ方を対象に、歯科医師による審査を実施し、表彰する。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	セントラルスポーツ（株）、（株）元気サポート、NPO法人みんなのwell.net、（株）アクティブ、（社福）大阪府社会福祉事業団特別養護老人ホーム美原荘			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	参加延人数 事業内容9の①～⑦の参加延人数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	36,320	36,320	24,000	24,000
			実績値	7,295	12,359		
			達成率	20%	34%		
	当該指標を選定した理由	継続して介護予防に取り組む高齢者が増えることで、健康寿命の延伸につながる。					
	目標値の設定根拠・算出方法	介護予防教室・健康教育・出前講座等の参加延人数。各教室定員の合計数を目標値とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	開催回数 事業内容9の①～⑦の開催回数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	1,000	1,500	1,200	
			実績値	600	935		
			達成率	60%	62%		
	当該指標を選定した理由	保健センターや地域等で介護予防に関する教室や講座に参加する機会を提供することで、地域の介護予防活動への参加を促すため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	過去の実績に基づき設定した介護予防教室・健康教育・出前講座の開催予定回数					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	介護予防普及啓発事業（本庁）	事業番号	011-060
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	12,324	16,148	30,484	20,210	26,908
13財源内訳					
国支出金	3,081	4,037	7,620	5,052	6,726
府支出金	1,541	2,019	3,810	2,526	3,363
市債			0	0	0
その他（被保険者保険料）	6,161	8,074	15,242	10,105	13,456
受益者負担金(使用料、手数料等)			0	0	0
一般財源	1,541	2,018	3,812	2,527	3,363
14人件費 (b)	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430
15年間経費(c)=(a)+(b)	14,784	18,608	32,944	22,670	29,338

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	決算		
16事業費内訳	委託料	R4 決算	15,783	1,974	印刷製本費	R4	562	70
		R5 予算	20,940	2,617		R5	597	75
	報酬等	R4 決算	1,998	250	役務費	R4	284	36
		R5 予算	2,836	354		R5	407	51
	報償費	R4 決算	1,114	139	会場等借上料・負担金	R4	146	18
		R5 予算	1,121	140		R5	485	60
旅費	R4 決算	136	17		R4			
	R5 予算	205	26		R5			
消耗品費	R4 決算	187	23		R4			
	R5 予算	317	40		R5			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 委託教室の開催回数	回	461	618
② 上記①にかかる年間経費	千円	11,857	15,374
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	25,720	24,877

備考（算出についての説明等） 地域型げんきあつが教室・複合型介護予防教室・コッカラーター養成講座の委託教室の開催に係る単位当たりの経費

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>介護予防に取り組む機会の提供として、介護予防教室を開催した。令和3年度はコロナによる開催中止もあったが、令和4度は予定通り、教室が開催され、前年に比べて実施回数もは約5割増加し、参加者も約6割増加した。継続的に教室参加することで自立した生活が継続され、介護予防に繋がっている。</p> <p>令和4年度の一般競争入札での落札価格が減少したため、単位当たりの経費は減少している。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>令和4年度も新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かず、感染対策を実施しながらの開催となった。また、対面での教室に加えて、ICTを活用した教室を開催した。前年度に比べ、開催回数が増加したことから多くの市民に利用してもらえ、より多くの方へ介護予防に取り組むきっかけが提供できた。高齢者においては、身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であることから、今後も様々な機会で開催していく。</p>
----	--